

# テルモ200NC3

THERMO 200 NC3

一般名称	耐熱用変性シリコン樹脂塗料上塗			
適用規格	—			
系統	耐熱用変性シリコン樹脂上塗塗料			
主な用途	【耐熱鋼構造物用】			など
適用素材	鉄	亜鉛めっき	アルミ	ステンレス
	—	—	—	—

特長

- 1) 常時200℃(瞬間最高250℃)の温度に耐える。
- 2) 塗膜の耐候性が良く、屋外バクロ部にも使用可能である。

塗料性状	塗料密度(比重)	1.30(白)
	溶剤密度(比重)	0.86
	加熱残分	60%(白)
法令など		一液
	劇物表示 (品名・含有率)	SDSをご参照ください
	労安法上の 表示有害物	SDSをご参照ください
	使用有機 溶剤種別	SDSをご参照ください
	消防法による 危険物区分	第2石油類(非水溶性)
	硬化剤の成分 による区分	—
	ホルムアルデヒド 放散等級	—
製品情報		一液
	荷姿	16kg 4kg
	混合比(重量比)	—
	主な色(色相)	淡彩色

素地調整

- 被塗面は十分乾燥させ、汚れ等の不純物の付着がなく、清浄であること。
- 水洗により塩分、水溶性汚染物質を除去する。適切な洗浄剤や溶剤で、油やグリースを除去する。
- 詳細は塗装仕様書を参照ください。

使用方法	調査方法	オートマゼールなどの動力攪拌機を用いて、十分ほぐしたのち使用する。	
	熟成時間	不要	
	使用シンナー	エナメルシンナー200	
	希釈率(重量比)	エアレス: 0~5wt% ハケ・ローラー: 0~5wt%	
	エアレススプレー	2次圧	10MPa(100kg/cm <sup>2</sup> )以上
	塗装条件	チップNo.	163-415~617

(日本グレイ社製)

## テルモ200NC3

THERMO 200 NC3

上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。  
製品改良のため予告なく変更することがあります。

作成日 2024. 9. 19.

更新日 2024. 9. 19.

ページ(1/2)

## 使用量と膜厚

塗装方法	標準膜厚		標準使用量 注)
	Dry( $\mu$ m)	Wet( $\mu$ m)	g/m <sup>2</sup> /回
エアレススプレー塗り	25	75	140
ハケ・ローラー塗り	25	75	110

注)標準使用量は、個々の条件によって異なります。

## 乾燥時間 塗装間隔 可使時間

項目		5°C	10°C	20°C	30°C	40°C	
乾燥時間	指触	3時間	3時間	1時間	1時間	1時間	
	半硬化	5時間	5時間	3時間	3時間	3時間	
標準塗装間隔 注)	最短	16時間	16時間	12時間	8時間	8時間	
	最長	7日	7日	7日	7日	7日	
可使時間		—	—	—	—	—	

注)上記数値は施工管理上の参考データです。規格に規定がある場合はそれを優先してください。

実施工においては塗膜異常がないことを確認したのちに、次工程塗装してください。下記の主な適用上塗塗料を塗り重ねる場合です。

作業禁止条件 気温5°C以下、湿度(RH%)85以上

主な適用 強溶剤: テルモ200NC3下塗、SDジンク1500A、SDジンク1500AP

下塗塗料 弱溶剤: —

ハイソリッド: —

水性: —

主な適用 強溶剤: —

上塗塗料 弱溶剤: —

ハイソリッド: —

水性: —

耐熱温度(大気バクロ環境) 短時間 250°C耐用、長時間 200°C耐用  
(短時間とは、概ね1時間以内を目安としてください。)

施工管理  
用特数値

希釈率(wt%)	SVR(%)	WET/DRY係数
0	39.5	2.5
5	36.8	2.7

【理論WET膜厚】=【目標膜厚】÷【SVR】 式または  
【理論WET膜厚】=【目標膜厚】×【WET/DRY係数】式で  
希釈率毎の管理WET膜厚が算出できます。  
※SVR(Solid Volume Ratio)体積固形分であります。

## 安全情報

- 安全情報に関する詳細な内容は安全データシート(SDS)をご参照ください。
- 容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご確認の上、ご使用ください。
- 塗料が皮膚につくと人によってはカブレを起こすことがあるので、皮膚につかないように取り扱いください。

## 貯蔵条件

本製品は特に水分の影響を受けないように保管してください。  
高温多湿環境・直射日光を避け、密閉した状態で冷暗所で保管ください。

使用上の  
注意事項

- 1)素地調整は1種ケレン(完全な除錆による鉄素地の露出)が必要です。
- 2)水蒸気・酸・アルカリの強い雰囲気では耐久性が弱いので、使用を避けてください。
- 3)上塗すると下塗がにじむ場合がありますが、上塗を2回塗りするかスプレー塗装すればにじみは止まります。  
塗膜性能に問題はありません。
- 4)SDジンク1500AもしくはSDジンク1500APの上に塗装する場合、バブリング対策上、2~5分の塗装間隔で2回塗りのミストコートを行ってください。
- 5)使用開始時には徐々に昇温してください。急激に昇温すると上塗りに膨れが生じる場合があります。  
ふくれが生じた場合には上塗りのみ補修してください。
- 6)塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細は、SDS(安全データシート)を参照してください。
- 7)色合いは塗料の特性上、近似色となることがあります。
- 8)テルモNCおよびテルモNC2シリーズとの混合、塗り重ねは避けてください。

## テルモ200NC3

THERMO 200 NC3

上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。  
製品改良のため予告なく変更することがあります。

作成日 2024. 9. 19. 更新日 2024. 9. 19.  
ページ(2/2)